

FCP第2回若手フォーラム 事前課題

<作業・提出方法>

- ① 【全員】ワークショップ用事前課題シート（スライド3枚目）を作成して、スライド3枚目のみを、各チームのリーダーへご提出ください。

期日：7月14日（金）17:00

宛先：各チームのリーダー

- ② 【各チームのリーダー】チームメンバーの事前課題シートを一つにまとめて、FCP事務局までご提出ください。

ファイル名：【チーム】第2回事前課題.pptx

（例 【A】第2回事前課題.pptx）

期日：7月19日（水）17:00

宛先：FCP事務局 fcp_jimukyoku@maff.go.jp

（チームファシリテーター＋チームメンバー全員へも共有）



第2回若手フォーラム 事前課題

第2回若手フォーラム（7月26日（水））

テーマ：食品安全と品質

《食品安全・品質保証の仕組みを学び、それを機能させるために必要な視点を見つける》

講演1	品質保証のための規格認証について	The Consumer Goods Forum, Japan 大久保 力氏
講演2	企業の品質保証の取組	国分グループ本社株式会社 瀬川 恵寛氏

ワークショップのねらい：

- 食品業界における食品安全や品質保証に関わる仕組みとその背景を理解する
- 参加者の所属先や職務から、その仕組みとの関わりと、自分の考えや意見を話し合う
- 参加者が直接/間接的に関わるフードチェーンの中で、どのように協力しまたは支援することで、消費者に対する食の安全が確保できるのかを話し合う

チーム

記入者：

食品業界の食品安全や品質保証に関わる仕組みについて考えてみましょう

1.あなたの仕事または生活の中で、関わりのある食品安全や品質保証の仕組みを3つあげましょう

2.1で最も関心の高い仕組みを1つ選び、それはどのような長所と課題があるかを書いてください

3.食品安全の仕組みにはフードチェーンの「生産」「加工」「物流」「小売/外食」「消費者」、またそれを支援する「関係行政」「有識者」の間の円滑なコミュニケーションが不可欠ですがその協力や信頼を向上させるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。またあなたが将来やりたいことは何ですか

ワークショップ用
事前課題

食品安全と品質



X チーム

記入者：円是留 翔平

記入例

食品業界の食品安全や品質保証に関わる仕組みについて考えてみましょう

1.あなたの仕事または生活の中で、関わりのある食品安全や品質保証の仕組みを3つあげましょう

JAS規格、冷凍食品認定マーク、JFS-C認証

2.1で最も関心の高い仕組みを1つ選び、それはどのような長所と課題があるかを考えましょう

JAS規格 長所は、商品にJASマークを表示することで消費者の商品選択に役立つ

課題は、市販品の多くに品質の差がなくなってきており、JASのわかりやすい差別化が必要になっている

3.食品安全の仕組みにはフードチェーンの「生産」「加工」「物流」「小売/外食」「消費者」、またそれを支援する「関係行政」「有識者」の間の円滑なコミュニケーションが不可欠ですがその協力や信頼を向上させるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。またあなたが将来やりたいことは何ですか

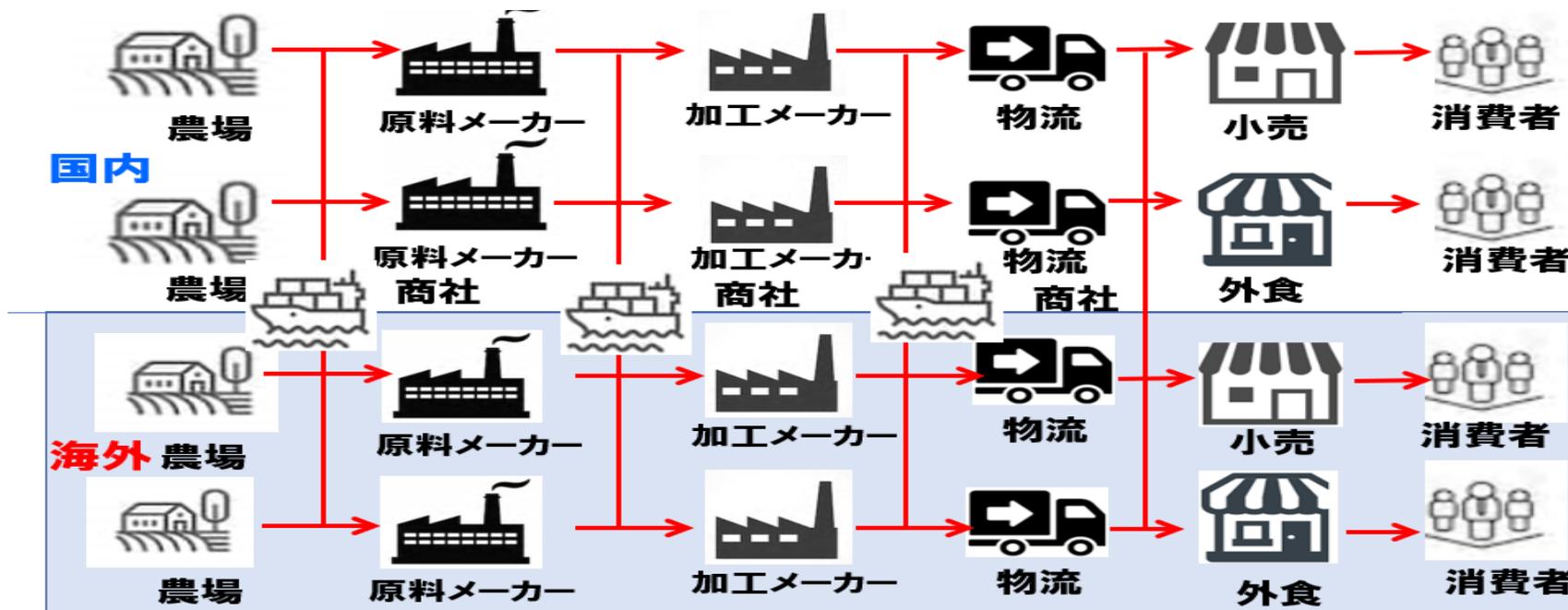
品質認証では食品安全と品質について差別化できる仕組み作りが必要だと思う。私はその仕組みを考えて提案し、それを消費者の視点でわかりやすく伝えるコミュニケーションプランにチャレンジしたい

第2回若手フォーラム 事前課題

参考

「認証の仕組み」に取り組む背景

1. フードチェーンの広域化と集約化が進行する中で、食品の品質・衛生をはじめさまざまな分野で「**効率化**」への対応が、加速度的に要求されている
2. また、多様化の中で、持続可能な社会に対応するための、さまざまな環境や人権、配分など社会的責任を果たすための目標とその具体的行動を、「**共通の指標**」と「**客観的な視点での評価を受ける**」仕組みが整備されつつある



第2回若手フォーラム 事前課題

参考

「認証の仕組み」の例 「共通の指標」をもとに「客観的な視点での評価を受ける」ことで認証する仕組み

	認証の仕組み	管理団体	目的	内容
	ISO認証	国際標準化機構	品質、環境、情報セキュリティ、食品安全、労働安全衛生などの国際標準規格の取り組みに対して認証する	事業者は目的に合わせて、規格について認証を受ける
	JIS規格	日本産業標準調査会	日本の国家標準の1つで、主務大臣が日本産業規格の答申を受けて制定する。土木及び建築など工業品を中心に19部門に設けられている	製品がJISへの適合性の認証を受けたときに、製品そのもの、製品の包装、製品の容器または製品の送り状に付することができる
	JAS（日本農林規格）	（社）日本農林規格協会	農林物資の規格化等に関する法律に基づく、農・林・水・畜産物およびその加工品の品質保証の規格で、日本の国家標準の1つ	食品表示など該当商品の購入の際の判断材料や取引の手段として活用されている
	有機JAS（オーガニック認証）	農林水産省	農薬や化学肥料などを制限し自然界の力で生産された農産物、加工食品、飼料及び畜産物の認証	有機食品のJAS規格に適合した生産が行われていることを登録認定機関が検査し、認証する
	保健機能食品	消費者庁	食品表示基準で栄養成分の機能及び特定の保健の目的が期待できる旨を示す用語の表示が禁止されており、所定の根拠、条件をもとに保健機能食品の表示が認められる	特定保健用食品（有効性、安全性審査と消費者庁の許可を受ける）、栄養機能食品（国が定めた下限・上限値の基準に適合する）、機能性表示食品（機能性関与成分に保健の目的が期待できる旨を表示する）に分類される
	MSC (Marine Stewardship Council)	海洋管理協議会（英国）	水産資源と環境に配慮し適切に管理された、持続可能な漁業に対する漁業認証	厳格な規格に適合した漁業で獲られた持続可能な水産物にのみ認められる証、それがMSCラベル、通称「海のエコラベル」
	GI（地理的表示 Geographical Indication）	農林水産省	製品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し保護する	登録製品の地理的表示と併せて真正な地理的表示産品であることの証を受ける
	レインフォレスト	レインフォレスト・アライアンス（RA）	市場メカニズムを利用して、森林伐採や環境破壊の要因となる木材生産、農地拡大、牧場経営等に歯止めをかける	コーヒー、紅茶、チョコレート、バナナなどを対象に、生産農園の持続可能性、その作物を輸入、加工する各企業の生産流通の方法やトレーサビリティの確認により認証（マークの使用）を受ける
	SQF (Safe Quality Food)	FMI(Food Marketing Institute) (米国)	食品の安全衛生とともに食品の品質を向上させることを目的とした国際規格	HACCPによる衛生管理とQMS（品質マネジメントシステム）に関する規格で構成